



つながり

令和6年12月1日発行

Tel:29-5210

Fax:21-3456



由宇中学校



二次元コードから
閲覧可能です。

心のこもった 運動・スポーツで 地域を元気に!!

文部科学省は中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編の中で、「家庭や地域社会との連携及び協働と世代を超えた交流の機会（第1章第5の2のア）」を取り上げています。その中で、「都市化や核家族化の進行により、日常の生活において、生徒が高齢者と交流する機会は減少している。そのため、学校は生徒が高齢者と自然に触れ合い交流する機会を設け、高齢者に対する感謝と尊敬の気持ちや思いやりの心を育み、高齢者から様々な生きた知識や人間の生き方を学んでいくことが大切である。」と述べています。

本号では、楽しい運動・スポーツで、高齢者を笑顔にしている由宇中学校を紹介します。

学習支援に対する感謝の気持ちが 地域貢献へと発展!!

○ 文化祭「ふれあい講座」（17講座）として、特技を有する地域住民から、色々な知識や技能を学んだ生徒が、学びの成果を地域の方に還元したいと「高齢者サロン」でのスポーツ交流を発案しました。

【令和5年9月】高齢者サロンを見学〈代表2名〉

【令和5年10月】文化祭ふれあい講座〈全校生徒〉

琴、フラダンス、小物づくり、写真、木彫り、マジック、フォークダンス、韓国語、リズムダンス…

中学生と会話する機会が皆無なので、触れ合う場を作ってもらえると嬉しいです。〈地域住民〉

私たち中学生が皆さんにできることは何ですか？〈中学生〉

このリズムダンス、高齢者にお見せすると、喜んでもらえるのでは？ 体力測定やレクリエーションと一緒にやってみよう。〈中学生〉

【令和5年12月】高齢者サロン(中村集会所)で交流〈有志生徒〉

8の字ペットボトル、ゴルフボーリング
トイレットペーパータッチ……

孫は遠くにいて日ごろ話す機会がありません。今日はいっぱい話せましたし、ゲームがとても楽しかった。有難いひとときでした。〈地域住民〉

高齢者と関わる機会が減ったので、一緒にレクリエーションができて嬉しかったです。〈中学生〉

いつもは高齢者が企画運営するのですが、今回は中学生がレクリエーションを準備し、みんなを楽しませてくれました。〈地域住民〉

【令和6年7・8月】2つのサロンで交流

高齢者サロンでの様子が、新聞や「社協だよりYuu ゆう」に掲載されました。生徒の心のこもった活動を知り、今年は2ヶ所の「ふれあいいきいきサロン」から依頼がありました。生徒は大変喜び、さらに自分たちで活動を工夫して交流に臨みました。生徒の優しさや逞しさといった人間性の高まりを感じました。〈田山 校長〉

「心から楽しめた」また中学生に会いたい」「可愛い若者と交流できて若返ったようだ」…高齢者の言葉が、この活動の価値を物語っています。時間と空間を共有し、活動を共にする中で自然と会話が交われ、それぞれの思いが伝わり合い、両者にとって生きるエネルギーとなっていました。

